

労働組合・非営利団体のSDGs ～地域共生社会への貢献～

提言

各組合が、各々の活動をさらに発展させていくことは大事。しかしこれからはお互いネットワークを組み、骨太な活動にして地域社会に貢献していこう。

登壇者

【進行役】	村田 幸子氏	福祉ジャーナリスト
【アドバイザー】	中村 天江氏	(公財) 連合総合生活開発研究所主幹研究員
	小田原 弘氏	日本郵政グループ労働組合 中央執行委員総合政策部長
	畠山 薫氏	日本労働組合総連合会総合運動推進局運動企画局局長
	比嘉 政浩氏	(一社) 日本協同組合連携機構代表理事専務
	前田 昌宏氏	日本生活協同組合連合会地域コミュニティーグループグループマネージャー

■ 寄せられた声から

- ボランティア活動などに参加する人を集めるのがとても難しい。時間の確保が課題。
農業の繁忙期対策として、企業、官公庁に勤めているサラリーマンに副業を幅広く認めて、人員を投入できるようにする政策が必要。
- 防災・減災の連携もできるような取り組みがこれからの社会には必要であるので、連携できる仕組みを作っていけるような取り組みを望みます。
- 社会福祉協議会として労働組合等の取り組みを知ることができてよかったです。今後のためにお互いにつながっていければと思いました。まずは地元の団体に声をかけていきたいです。

議事要旨 村田 幸子氏

この分科会は、サミット初のテーマ。JP労組、連合、生協、加えてあらゆる協同組合が参加している日本協同組合連携機構と、いずれもが全国に広がる大所帯の団体である。これらの団体が組合員の利益追求という内向きの活動から、その力を外へ、つまり地域へ向けて発揮することが常態化したら、どれほどの地域課題が解決されるだろうかと、議論終了後には明るい気分させられた。「JP労組」からは小田原弘さん。郵政は国営から民営・分社化と経営形態が変わり、雇用のあり方もさまざま。そうした中での運動は一つの旗印の元にまとめることは困難で、活動には濃淡がある。しかし「JP smile プロジェクト」と名付けた運動で、地域の特性を活かした取り組みを進めている。さらに今後はSDGsを意識した活動を全国展開することになっている。

組合員700万人という「連合」からは、畠山薫さん。災害時にはボランティアやカンパ活動に組み、その後も復興支援を続けているが、その活動があまり知られていないという悩みを抱えていた。そこで支えあい・助け合いの活動を「ゆにふあんマップ」と名付けた連合のホームページに載せ、活動の見える化を図った。組織内に活動を知らせると同時に他の団体の活動も紹介し、内向きからの脱却を目指している。その達成度、現在30%。活動への参加を促すと、以前なら「断れないから行こう」となったが、今は即「嫌です」となり、世代間ギャップを感じるという。結果、活動が動員型になりかねないという懸念を、連合に限らずどの団体も感じていた。

「生協」から前田昌宏さん。組合員3千万人を抱える組織。活動は山間部や離島を含めての宅配事業、見守り活

動、こども食堂等、その範囲は多岐に渡る。暮らしを支える事業として私たちには馴染みだが、こうした活動は今、生協が単独で行うのではなく、行政やNPO、社協、JA、地域住民等と連携し、得手不得手をかみ合わせて赤字をなくし、持続可能な骨太のものにと育てている。

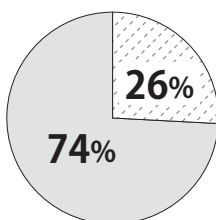
各団体が単独で取り組む事業には限界があり、いまやお互いネットワークを組んで協働して活動せざるを得ないのだと指摘するのは、「日本協同組合連携機構（JCA）」の比嘉政浩さん。日本は生協法、農協法等縦割りの法律に阻まれて連携することが難しかった。その壁を破りJCAが成立したのが4年半前。組合員数延べ1億700万人の巨大組織である。日本は異なる協同組合の連携は下手というが、協同組合は地域に根ざしてしか存在も展望もあり得ない。各団体が持っている経営資源には限りがあり、山積する地域課題の解決には力を合わせていくしかないのだと力説された。

労働組合も非営利団体も、それぞれ異なった組織目標を持っているので、完全に一致して活動できるわけがない。どこで一致できるか、折り合いのつく点を探り、まずはそこから連携していくことが大事だ。アドバイザーの中村天江さんは各団体の報告を聞いて、繋がりが広がり始めている、さらには繋がりの繋がりが広がり始めているという。繋がりが豊かな人、つまり「つながりリッチ」を目指し、人間関係の幅を広げていくことによって、人の幸福度は高まるようだ。「支えあい、助け合い」の活動の根源は、ここにあるのではないかと

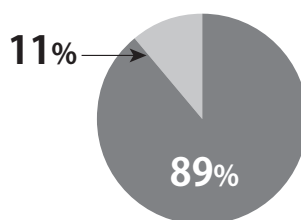
目指そう、つながりリッチ！

アンケートの結果 参加者概数：64名 回答者数：35名

回答者の所属先



助け合い活動をすすめる立場の方



その他の方

